

【解答】

問1 メガロポリスは、近接したいくつかの大都市が相互に機能的な連携を深め、帯状に連なった地域のことを指す。日本の東海道メガロポリスや北米東岸のメガロポリスの事例がある。都市と都市が鉄道や道路などで結ばれ、人口の集中や産業の集中が見られることが形成を促している。ただし、人口の過度の集中による通勤ラッシュや交通渋滞などの都市公害、工場の集中による大気汚染・騒音・地下水汚染などの産業公害が発生している。

(197字)

問2 廃村になると、耕作放棄地が増加、そして森林管理も難しくなり、台風などの際の土砂災害が激化してしまう恐れがある。また、公共交通機関の撤退が進み、残された少数の高齢者、主に自家用車に乗れない交通弱者の生活空間が縮小する。訪問看護を受けられなくなり、少ない財源で老人ホームの設置も難しく、医療難民も発生する。豊かな自然環境を背景に成立していた伝統的文化も消滅し、観光地としての役割も果たせなくなる。

(196字)

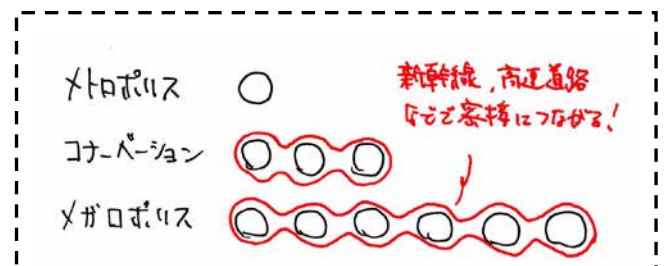
問3 先進国の場合、都市の機能集積が農村からの人口流入を促し、CBDなど特徴的な機能を持ったいくつかの地域が発達するが、発展途上国の場合、農村の人口圧により人口が首位都市である首都に集中し、郊外にスラムが発達する。(104字)

解説

ソチの冬季五輪が終わったかと思ったら、ブラジル開催のサッカーワールドカップが近づいてきましたね！サッカー部に所属していたわけではなく、Jリーグも見ていたわけではないので、『深読みサッカー論』という書物を買って勉強中です。その本によると、イギリスの監督が「マナオスみたいな辺鄙なところで試合やるの？」みたいな発言をしたらしく、マナオスの住民は怒っているそうです。そして、試合会場を決めるくじ引きをすると、見事にイギリスーイタリア戦の場所がマナ

オスに決まりました。これはきっとマナオス住民はすごい勢いでイギリスに対してブーイングを投げかけますでしょうね。このくじ引き自体、仕組みたんじゃないの…とも思ってしまいます。みなさんは、イギリスはかつてマナオス原産の天然ゴムを大量に仕入れてタイヤに換え、自動車を生産してきたのに、昔の恩義を忘れてひどいこと言っているな〜と思うぐらいの地理受験者になってください。それでは解説を始めていきましょう！

問1 メガロポリスという、受験生なら誰でも知っ
ていそうな単語の説明から掘り下げた良問ですね。
解答にも書きましたが、長々説明すれば、巨大都市群が帯状に連結し、交通機関で密接に結合し、1つの有機体として活動し、その地域の政治・経済・産業・文化の中心帯をなす地域のことです。都市の用語をもう少し整理すれば、メトロポリス・コナーベーション・メガロポリスの順に理解しておく必要があるでしょう。メトロポリスは様々な機能を有している一般的な大都市という風に考えてください。例としては、東京やニューヨークなどです。都市を丸で表せば、1つの丸で形成されています。コナーベーションになると、連接都市または連合都市と呼ばれ、隣接する数都市が結合し、境界が不明確になった都市群のことを指します。例としては京阪神地帯やドイツのルール地方、アメリカの五大湖沿岸地方になります。丸が2～3個で示されるようになります。そして、メトロポリスやコナーベーションが結びついた存在がメガロポリスになります。丸が多く連結しているように示されます。



さて、次に事例に移りますと、日本の東京から大阪などへつながる東海道メガロポリスや、アメリカ東海岸のボストンからニューヨークなどへつながるメガロポリスが有名です。近年では、ヨーロッパの産業の中心を担っているブルーバナナ地域もメガロポリスに入れて考えるようになっていくようです。

形成要因に関しては、どうして1つの都市がいくつも連結していくのかを考えなければなりません。それぞれの都市で機能が拡充し、拡大しつつある都市同士が連結を始めていくわけです。じゃあ、どうしたら都市機能が拡充していくのか、それは人口増加に負うところが大きいです。人口が増加すれば、住宅地が増え、購買者の増加から商業施設も増設されるはずで、その人口の増加は農村人口の都市への移住によって担われているので、農村から都市への鉄道網や道路網、さらには都市間の交通機関の発達が発達要因となって都市が拡大していき、まとめると、鉄道や高速道路などの発達により産業が発達し、都市間のつながりが深まっていくことが形成要因になります。

あとは、生じている諸問題ですね。巨大な都市が林立している地域で何が起きているかを考えましょう。人口が集中したことで、通勤ラッシュや交通渋滞が起こるようになったことは分かりますよね。みなさんも、朝の登校時は結構しんどい思いをしていると思います。交通渋滞は、排気ガスの増加から大気汚染をもたらすでしょう。自動車やバイク、トラックの増加は騒音の問題も発生させます。また、工場などが立地すると、工場排水によって地下水が汚染されたり、振動が問題になったり、先ほどと同じく大気汚染につながります。亜硫酸ガスが発生したことで公害問題に発生した病気に、四日市ぜんそくもありましたよね。これら、思いつくことを残った字数に埋めていけば解答はできるはずです。



問2 この問題は難しい問題ですねー。まず、問題文があいまいなんです。「限界集落と呼ばれるような、廃村の可能性が高い集落が出現している」と書いておきながら、「こうした廃村のもたらす問題点」って書いてあるでしょ。最初は「廃村の可能性が高い」、次に「廃村」という風に微妙に違うわけです。そもそも、廃村の定義さえあいまいです。普通は、人っ子一人いなくなった村のことを廃村というように考えると思いますが、今回は、若者がほとんどいなくなり、少数の高齢者しかいなくなった村を「廃村」と想定し、この「廃村」のもたらす問題点を見ていきたいと思っています。ちなみに、「限界集落」は、過疎化・高齢化が進展していく中で、経済的・社会的な共同生活の維持が難しくなり、社会単位としての存続が危ぶまれている集落のことを指しています。広義の「廃村」とあんまり変わらないと思います。

地理っぽい話からしますと、こういった高齢者しかいないような村は、都市部から離れた山村で見られます。電気やガスなどが通っていないければ、後背地である林野を切り開き、森林を定期的に伐採、間伐しながらエネルギー源に変えて生活せざる

るを得ません。森林破壊になるほど激しく伐採しなければ、定期的に伐採している方が“健康的な”森林に育ちます。必要な木に栄養が行き渡り、どっしり根を下ろした森林になります。ところが、高齢者の数も減って森林を管理できなくなると、“不健康な”森林が、大雨の際に倒木し、河川の下流に流れていって土砂災害をもたらしてしまいます。

次に、社会的な面を考えてみましょう。少数の高齢者しか存在していないわけですから、こういった村への公共交通機関は閉鎖される傾向にあります。高い燃料費を払ってバスを運行しても採算が取れないなら、資本主義の論理に則って閉鎖するのもやむなしです。民間のバス会社が撤退したら、地方公共団体でバスを運営すればいいのっていう考えも成り立ちません。高齢者率の高い地方公共団体では、医療費がかさむ反面、若手の少なさから多くの税金を見込めません。若手が多くいけば、住民税・所得税・消費税・酒税…といった税金で潤うはずなのですが…。こうして自家用車にも乗れなくなってくる高齢者は生活空間の縮小に直面します。買物にも行けない買物難民、病院に診てもらえない医療難民も増えてくることになります。

さらには、伝統的な文化の喪失にもつながると思います。その村に伝わる方言、その村に伝わる年中行事、そういった古き良き伝統文化が消滅していき、その行事を中心に催行されていた観光客誘致イベントの実施も難しくなります。観光収入も減って痛手になるでしょう。「多面的に述べなさい」という問題に的確に答えようと思ったら、日頃から新聞などを読み、様々な情報を摂取しておく必要がありますね。

問3 この問題は文字数設定がおかしすぎます(笑)。問1と問2同様200字で解答を作成して、ふと見たら100字設定でびっくりしました。絶対、充実の解答はできないですよ。どの情報を入れるかを

考え、多少、意味の通じない日本語になっても要素を入れておくべきだと思います。

「発展途上国で見られた、首位都市などにおける都市化」…この文面もはっきりしないですねー。

「首位都市など」って。首位都市で聞くのか、一般の都市で聞くのか、的を絞って欲しかったです。とりあえず、発展途上国の都市の知識をまとめておくと、農村地域で人口増加率が高く、農村で生活することが難しくなった若者が押し出されるように都市に集まってきます。Push理論です。ですが、発展途上国は資金も技術もあまりないので、国土に多くの都市を建設することはできない。なので、1つの都市に機能が集積してしまい、もちろん首都になることが一般的で、そこに圧倒的な人口が集中し、首位都市となってしまいます。当然、全員仕事に就けるわけではないので、働きのない若者が金品目当てで住民を襲ったり、不法に占拠した区画に定住してスラムを形成することが多いです。

一方、先進国では、都市に産業が集積していたので、農村の若者が都市の魅力に引き寄せられる形で移住を始め、都市に人口が集中しました。Pull理論です。人口が集中し始めると、都心(CBD)の地価が高騰し、過密現象を嫌う住民が郊外へ移住することが連なり、漸移地域、勤労者住宅、高級住宅、郊外地区などの特徴ある区画が発展することになりました。



(E. W. Burgessによる)

扇形構造論(開拓地や途上地域など)

この内容をどうやって100字に収めればいいのかどうかって悩みますよね?無理やり100字に押し込んで作成した解答をよく見ておいてください。

今回系統地理分野の都市の内容を、阪大の問題

を題材にして解説してきました。次回はどんなテーマになるかは分かりませんが、次回もお楽しみに！